

SAS BI Content Development for SAS 9

インフォメーション・コンシューマ・レポーティング・アプリケーション

SAS Add-In for Microsoft Office の使用

- MS Excelでのデータ・ソースのオープンとナビゲート
- SAS Add-In for Microsoft Officeで利用できる様々な種類のデータ・ソースの識別
- SASデータ・ソースの基本統計量を計算するための、クイック統計量タスクの使用
- グラフの作成とSASデータ・ソースの探索のための、自動作成チャートタスクの使用
- SASの結果の表示と対話

SAS Web Report Studio の使用

- 既存のレポートのオープン、レポートの表示、レポートのナビゲート
- レポートの作成、カスタマイズ、保存、共有
- 次のいずれかの方法を使用した新しいレポートの作成：編集モード、レポートウィザード、レポート・テンプレート、ソースの直接のオープン; Stored Processの直接のオープン

SAS Information Delivery Portal の使用

- SAS Information Delivery Portalを使用した、SAS BI ダッシュボード、SASレポート、およびSAS Stored Process、SASパブリケーション・チャンネル、SASパッケージの表示
- 新しいページの作成と、SAS Information Delivery Portalでのページの共有

データマネジメント

既存のSAS Information Mapの修正

- Information Mapが必要な統計量情報を提供していない場合に、ユーザーが希望するデータを提供するためのデータアイテムの変更

SAS BIダッシュボード・インジケータの新規作成

- インジケータとそれに関連するインジケータ・データ・コンポーネントとの間の関係について

レポートと分析のためのデータ・ソースの作成

- 新しいテーブルを作成するためにデータ・ソースの読み込みと結合を行うための、SAS Enterprise Guideのプロジェクトの構築
- SAS Web Report Studioで使用可能な様々な種類のデータ・ソースの識別
- OLAPキューブの構築のための、SAS OLAP Cube Studioの使用
- データを表示するために必要なメタデータ権限の識別

プラットフォーム管理者によってメタデータに定義された権限とファイル構造の解釈

- メタデータユーザー、グループ、役割の違いについて
- メタデータの役割をサポートするSASアプリケーションの識別
- SASフォルダツリーの構造と使用について
- 接続プロファイルの目的と種類について
- 達成すべき機能の種類に基づいた、メタデータ権限設定の決定

SAS Platformによって作成、使用されるメタデータの説明

- 接続プロファイルの目的について
- SAS 管理コンソールのインターフェースの構成要素について
- SAS Web Report Studioを使用したレポート配布のためのデフォルトの要件について
- SASおよびDBMSライブラリを含むライブラリの登録プロセスについて
- SAS Web Report Studioで使用するためのイメージの準備方法について

Information Mapデータ・ソースの作成

- 有効なデータ・ソースについて
- Information Mapの作成に使用できるデータ・ソースの要件について

Information Mapの作成

様々なデータ・ソースの利用

- SAS Information Map Studioを使用したInformation Map作成のための、必要となる手順の識別
- 特定のシナリオにおいて、タイプ別のデータ・ソースからデータ値を取得するために必要となるクエリ言語の種類について
- Information Mapに複数のリレーショナルテーブルを含める場合に使用できる、結合の種類について
- 新しく追加されたデータ・ソースと既存のデータ・ソースとの関係を自動的に作成する方法について
- リソースが未解決、またはリソースを変更したい場合に、サーバー、ライブラリ、テーブル、キューブなどの未解決のリソースを置き換える方法について

動的なデータ・サブセットのためのフィルタとプロンプト・フレームワーク

- Information Map内のデータのサブセットに使用できるフィルタのタイプについて
- SAS Information Map Studioで新しいフィルタを作成する様々な方法について
- データアイテムをフィルタで使用方法について
- 有効なフィルタ条件について
- 特定のシナリオにおける、使用可能な様々なフィルタ値について
- フィルタを作成するときに使用できるオプションについて
- 単一フィルタ、複合フィルタ、およびIDドリブンフィルタを含むフィルタを作成する手順について
- フィルタの新規作成ウィンドウのフィルタの組み合わせセクションで提供される機能について

Information Mapデータ・サブセットのための事前定義フィルタの作成

- 事前定義フィルタの目的について
- 2種類の事前定義フィルタについて
- 標準の事前定義フィルタを作成するために必要な手順について
- 認証ベースの事前定義フィルタを作成するために必要な手順について
- 自国の販売総額のみを表示するシナリオにおける、作成すべきフィルタの種類
の識別

SAS BIダッシュボード・アプリケーションの構築

SAS BIダッシュボード・コンポーネントの構築

- ダッシュボード・コンポーネントの設計のためのプロセスについて
- ダッシュボードの作成に必要な手順の識別
- インジケータデータを定義する際に使用できる4つのデータ・ソースについて
- インジケータデータの作成における、データ・ソース内のデータ列にプロパティを関連付けるための、データマッピングタブの使用
- インジケータ・オブジェクトのデータ・ソースとしてのインフォメーションマップの使用
- インジケータデータ・オブジェクトのデータ・ソースとしてのSQLクエリの使用
- ダッシュボードの作成に使用されるさまざまなコンポーネントについて
- インジケータを作成するために必要な手順について
- インジケータ構成アイコンの目的について
- インジケータ表示の種類がどのようにデータを集計するかについて
- 作成時に定義する必要があるものとインジケータの決定
- ダッシュボードのプロパティの設定

高度なSAS BIダッシュボード・コンポーネントの構築

- 範囲の定義と作成
- 範囲をサポートするインジケータの種類を識別
- インジケータの相互作用の追加や他のコンテンツへのインジケータのリンクなど、インタラクティブな機能のダッシュボードへの追加
- インジケータのプロパティのカテゴリについて
- インジケータまたは静的コンテンツのズーム機能の有効化

Stored Processの構築

SAS Enterprise Guide プロジェクトからのStored Processの作成

- Stored Processの作成手順について
- Stored Processのメタデータの種類を識別
- Stored Processの実行可能なサーバーの種類について
- 単一のタスクからStored Processを作成する場合と、SAS Enterprise GuideプロジェクトのすべてのタスクからStored Processを作成する場合の違いについて
- SAS Enterprise Guideプロジェクトのすべてのタスクからではなく、複数のタスクからStored Processを作成するために必要な追加の手順について
- データライブラリのメタデータ定義を参照するための、メタデータLIBNAMEエンジンの使用

- Stored Processの新規作成ウィザードを使用するときに、ウィザードがStored Processに組み込むコードについて

SASプログラムからのStored Processの構築

- Stored Processのコードの要素の識別
- SAS Enterprise GuideでSASコードからStored Processを作成するときの、Stored Processの新規作成ウィザードの手順について
- SAS Enterprise Guideの既存のSASコードからのStored Processの作成
- Stored Processメタデータを登録するために使用できるアプリケーションについて
- _WEBOUT filerefに直接書き込むStored Processの作成
- SASコードでどのようにプロンプト値が展開されるかについて

Stored Processへのプロンプトの追加

- SAS Enterprise Guideプロジェクトで、SAS Stored Processの作成時に使用されるプロンプトの作成
- Stored Processプロンプトの種類を識別
- プロンプト値を入力する方法について
- プロンプト間の依存関係の確立
- プロンプトの依存関係を確立するための要件について

動的なデータ・ソースを提供するStored Processの作成

- 実行サーバー、権限、および結果機能を含むInformation Mapに動的にデータ・ソースを提供するStored Processの要件について
- Stored Processによって作成された動的なデータ・ソースを使用したInformation Mapの作成

各プロンプト・タイプに対して生成されるマクロ変数の定義

- Stored ProcessがどのようにStored Processのコードにユーザー値を渡すかについて
- 異なるプロンプトのタイプに対して作成されたマクロ変数の識別
- 複数を受け入れることができるStored Processのパラメータの定義と処理

共有プロンプトの作成

- 3種類のプロンプト・グループの識別
- 共有プロンプトの作成手順
- 共有プロンプトを使用するときにカスタマイズできる属性について
- 共有プロンプトの共有を解除するプロセスについて

多次元（OLAP）データ・ソースの利用

Online Analytical Processingのコンセプトの適用

- キューブ、ディメンジョン、レベル、階層を含む、OLAPの用語について

SAS® OLAP Cube StudioによるOLAPキューブの構築

- 次のようなタスクを実施しキューブを作成するための、キューブデザイナー・ウィザードの使用
 - キューブをロードするために使用されるデータ・ソースの定義
 - キューブで使用されるドリルスルーテーブルの指定
 - キューブのディメンジョン、レベル、階層の定義
 - キューブのメジャーの選択と詳細の評価
 - メンバのプロパティの指定
 - 集計の定義
- 計算されたメジャーの追加、キューブの更新、およびキューブの集計の統合などのアクションを実施するための、既存のOLAPコードの変更
- SAS OLAPキューブを定義するために使用できるテーブルの種類について
- 使用可能なキューブの更新の2つのタイプについて

SAS OLAPキューブからのInformation Mapの構築

- OLAPデータ・ソースを使用したInformation Mapを構築する際に考慮すべき要素について
- MDX言語について、また、いつ使用されるかについて
- OLAPキューブに基づくInformation Mapの作成

注意： 全23の主な目的は、すべての試験でテストされます。99の拡張された目的は、追加の説明のために提供され、テストされる可能性のある領域全体を定義します。